

温故創生

～ふるきをたずね、共に、新しきを生み出す～



行田市教育委員会教育総務課 発行

11月に見沼中学校区義務教育学校設立計画を白紙にしましたが、児童数が減少する中、複式学級を続けていくことは望ましくないと考え、複式学級の解消を最優先課題として取り組んでいます。

複式学級の解消に向けて

複式学級の解消に向けて、保護者の意向を伺いながら協議を進めています。その中で、教育委員会としての考えを示してほしいという要望がありました。教育委員会としては学校を存続させたまま複式学級を解消・改善することは困難であると判断し、『令和4年3月に北河原小を廃止とし、令和4年4月から北河原小学校区の児童は別の小学校に通学していただく』方針であることをお示ししています。

◎義務教育学校白紙決定（11月）以降の協議経過



- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 12月4日・11日：P T Aでの意見交換 | 2月14日：複式学級の解消に関する説明会 |
| 1月12日・14日：学校見学会（小学校） | 2月19日：学校見学会（中学校） |
| 1月22日～29日：保護者アンケート | |

複式学級の解消に関する説明会

令和3年2月14日（日）に北河原小学校体育館で『複式学級の解消に関する説明会』を開催しました。当日は39名（保護者23名、地域住民16名）に出席いただきました。

≪当日の質問（抜粋）≫ ※当日の質問・意見については、市ホームページに掲載予定です。



今後、具体的にどのような流れで進めていく予定ですか。

回答 保護者の意見を伺った上で、令和3年3月中には教育委員会としての方向性を示したいと考えています。



自由選択地域になってしまうのでしょうか。小学校は地域コミュニティの中心なので、自由選択になってしまったら地域コミュニティが心配です。

回答 地域の子供たちがバラバラの学校になることは望ましくないので、全員を自由選択とする事は考えていません。基本的に地域でまとまって一つの学校に行っていただきたいと考えていますので、大字北河原・大字酒巻はその学校の通学区域として設定する予定です。しかし、北河原小が廃校になってしまう中で、どうしても別の学校に行きたいという意向もあると思います。そのような方に対し、個別対応として指定校の変更を認めざるを得ないと考えています。